

安全チェックシート 一例 (スキー)

(計画)

番号	チェック	対策済	項 目	備 考
1			プログラム企画に基づき下見を実施した。	
2			プログラム計画書が作成されている。	
3			実地踏査の結果がプログラム/計画に反映されているか。	
4			下見時期と実施時期とのずれを考慮している。	
5			参加者の体力が考慮されている。	
6			参加者の能力が考慮されているか。	
7			施設の概要図・行程の地図が用意されている。	
8			悪天候時、エスケープルートが確保されている。	
9			悪天候時、避難場所がある。	
10			雷・雨に対する避難場所がある	
11			非常通信手段が確保されている。	
12			携帯電話通話圏内の場所を確認している。	
13			時間的に余裕を持って計画されている。	
14			十分な人的支援がある。(リーダー・保護者、スキー技能保持者)	
15			救急病院を確認した。	
16			参加者に持ち物、安全について連絡をした。	
17			事前の健康チェックをした。	
18			保護者に施設の情報やプログラム内容を伝えている。	説明会・しおりの配布
19				

(実施)

1			参加者名簿がある。	
2			当日、参加者の健康チェックができる体制である。	
3			救急箱の準備がある。	
4			実地踏査の結果がプログラムに反映されているか。	
5			施設管理者とプログラムや生活面での打ち合わせができています。	
6			天気情報を得ることができる。	
7			悪天候時中止・代替プログラムがある。	
8			プログラムにふさわしい服装である。	ヘルメット・プロテクター・手袋
9			服装・装備のチェックができています。(着替えを含む)	
10			寒さに対する対策ができています。(衣類・靴の乾燥作業を含む)	
11			汗拭きの準備がある。	
12			十分な睡眠。準備体操を計画している。	
13			日照対策がある。(紫外線対策・雪焼け)	ゴーグル・帽子
14			水分補給ができる。(水筒の準備)	
15			雨具の準備がある。	
16			食品の安全と衛生が保たれている。	
17			いたみにくい弁当である。	
18			ゲレンデの集合場所が確認されている。	
19			十分な技能訓練プログラムを計画している。	
20			スキースクールでのレッスンが準備されている。	
21			フリー滑走での事故が多発していることが認識されている。	
22			フリー滑走で技能別・体力などが考慮されている。	
23			フリー滑走の途中でも参加者の状況把握ができる体制である。	
24			単独でフリー滑走しないよう技能度に応じたチーム編成する。	
25			夜間の安全対策がなされている。プログラム終了後(宿舎)	ナイター滑走は、しない。
26				

1			実施・反省記録の保存	
---	--	--	------------	--